

臨床心理士のみ資格 履修モデル

			M1前期	M1後期	M2前期	M2後期
基礎科目	心理学的実践の基礎に関する科目	心理学的な実践を行うにあたり、習得しておくべき介入スキルとアセスメントスキルの理論及び技能を理解する。	心理学的アセスメントに関する理論と実践(臨床心理査定演習Ⅰ) 2単位	臨床心理学特論 4単位		
			臨床心理査定演習Ⅱ 2単位			
			心理支援に関する理論と実践(臨床心理面接特論Ⅰ) 2単位	→	臨床心理面接特論Ⅱ 2単位	
研究科指法目導科目演習・	心理学的研究法に関する科目	心理学についての研究を行うために必要な研究手法について取得し、修士論文を作成する。	心理学研究法特論 4単位			
			心理学研究指導演習 8単位			
展開科目	心理学的実践の各領域に関する科目	心理学的な実践の関係領域分野に関する知識、理論及び支援技能について理解する。	保健医療分野に関する理論と支援の展開 2単位	→	家族関係・集団・地域社会における心理的支援に関する理論と実践 2単位	
	心理学的実践の専門技法に関する科目	心理学的な実践を行うにあたり、習得しておくべき専門的な理論及び技能を理解する。		投影法特論 2単位	→	(心理療法特論 2単位)
	発達心理学関連の科目	発達心理学領域の理論及び技能を理解・修得する。		(発達心理学特論 2単位)	→	臨床発達心理学特論 2単位
実習科目	実習科目 心理学的実践の実習科目	実習を通して、心理学的支援の実践的技能を修得する。	臨床心理基礎実習 2単位	→	臨床心理実習Ⅱ 1単位	
			心理実践実習Ⅰ(外部) 2単位	→	心理実践実習Ⅱ(外部) 4単位	
				→	臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅲ) 1単位	
単位数			10	12	6	14
コマ数			5(+2)	7	4(+3)	20(+5)

- ※ 履修モデル上で白四角枠内になく( )内で示された科目は、公認心理師や臨床心理士の受験資格においては必修科目ではないが、心理専門職としての知識・技能の修得のために履修を推奨する科目である。
- ※ 実習科目は後期開講となっているが、実際にはすべての実習科目が前期の初めから授業や指導が行われる(前期の枠線はそのことを示している)。後期の時間割において配置されているのと同じ曜日・時限で前期にも授業が行われるので、その時間帯に他の科目を登録しないよう注意すること。